

臨床検査専門科目	病因・生体防御検査学					
		1単位	演習	平成30年度	後期	2年次
臨床検査学科	必修					
科目名	微生物検査学各論Ⅱ Clinical Microbiology II					
担当教員	◎小松方 中村彰宏					
目的	微生物検査学各論Ⅰで学んだ細菌以外の特殊な細菌および真菌、ウイルスに属する病原微生物の形態学的特徴、生化学的特徴、代謝、病原性などの基礎的事項を応用し、病原微生物の感染様式、その感染により引き起こされる感染症の特徴と検査法、抗菌薬選択法および予防について学ぶ。また臨床微生物学的検査の歴史的推移、遺伝子検査、質量分析等の新しい手法についても学ぶ。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細菌，クラミジア，リケッチア，スピロヘータ，真菌，ウイルスに分類し，それぞれの特徴，感染症との関連，および臨床微生物学的検査方法について理解する。</li> <li>2. 病原微生物の形態，培養法，生化学的性状，抗原性を理解し，臨床検査への応用を理解する。</li> <li>3. 病原微生物と感染様式および治療方法を理解する。</li> <li>4. 臨床微生物学的検査の現在の動向と新技術について理解する。</li> </ol>					
他科目との関連	微生物検査学総論、微生物検査学各論Ⅰ、微生物検査学実習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	筆記試験点数				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	微生物学/臨床微生物学（臨床検査学講座）第3版 医歯薬出版					
参考資料	臨床検査知識の整理 微生物学・臨床微生物学 医歯薬出版（ISBN978-4-263-22560-8）					
備考 (受講上注意、 事前学習等)						